

第39回 春季講演大会

特別講演

2025年3月12日(水)

拓殖大学文京キャンパスE館1階 講堂

【1】 15:10~16:10 予定

拓殖大学 政経学部 教授

丹羽 文生 氏

「緊迫化する中台関係と日本外交」



東南アジア近辺を中心とした地域において、中国が影響力拡大を目指し、軍事的・経済的活動を活発化させている。中でも、軍事的脅威に晒されているのが、中国が「核心的利益」としている台湾である。台湾の動向は日本に大きな軍事的・経済的影響を与える。近年の、台湾・香港を含む東南アジアでのフィールドワークによる知見から、「アジアに迫る危機」「日本外交」について述べる。

【2】 16:20~17:20 予定

Tenstorrent Japan Country Manager

中野 守 氏

Tenstorrent Inc, RISC-V Architect Gr

石井 康夫 氏



「Empowering AI Innovation with Versatile and Open-source RISC-V Processor」

LLMをはじめとする近年のAIテクノロジーは高い演算性能・メモリアクセス性能に支えられており、その性能要求はますます高まっている。本発表では演算性能・メモリアクセス性能を実現するテントレント社のRISC-V・AIテクノロジーに関して説明をし、AIプロダクトの肝となるRISC-VベースのアクセラレータIP(Tensix)とCPU IP(Ascalon)について紹介をし、これらのIPがAIハードウェアの中でどのように活用されるかを説明する。



主催：一般社団法人 エレクトロニクス実装学会